



しかはま自然観察会

# のらえもん

2025 年度

No. 1 7

2026, 3, 1

『 人も 自然も みんな友だち 』

第 17 回活動

「森と環境」発表会および梅見物

2 回目の発表会。

土呂部で採取したイタヤカエデの樹液を  
みんなに味わっていただきました。

かすかに「甘い！」感じが、口の中に広  
がりましたね。

それを濃縮し、糖度を 60 パーセントにま  
で高めたシロップも味わってもらいました。  
カエデの命の水、それは森の恵みでした。

1、 日 時：2026 年 3 月 1 日（日）1300～1400

2、 天 気：晴れ

3、 場 所：発表会・・・いきいき館  
梅見物・・・都市農業公園

4、 参加者：18 名	内訳	足立区より	1
		大人	6
		小学	2
		幼児	3
		スタッフ	6

5、活動の様子

座学として、このような時間を設定するのは 2 回目である。

普段は、とりとめもなく話しながら共通の活動をして終わる。が、活動をまとめて発表するというのは、気の重い心情になるのが普通である。

今回はその「気の重い心情」を打破するべく、自分なりにまとめて大勢の人に聞いてもらう機会を、昨年につき設定したのだった。

自分なりのまとめは完全ではなく、至らない点がたくさんある。至らない点をはっきりさせるためにも自分なりのまとめは重要で、そのことに気づくことが活動内容を深めていくことになるはずだ。そんなチャンスを作り上げた発表会だった。

○土呂部の自然の発表 発表者：川井誠一

カメラにおさめた土呂部の自然を、プロジェクターを使って発表しました。

- ・訪ねた日は、ぼかぼかの陽気でした。が、一週間前は-15℃になった、と民宿の女将さんは話してくれました。
- ・メイプルシロップの原料であるイタヤカエデの樹液を求めて、森に行きました。ポリタンクの中は、空っぽのものが多かったです。三分の一ぐらい樹液がたまっているポリタンクが、いくつかありました。そこから、ペットボトル1本分（500cc）をいただいてきました。今日の発表会で、皆さんに試飲してもらうためです。
- ・森の中には、動物の足跡がたくさんありました。丸い糞もありました。鹿のようです。このあたりでは、鹿は何を食べているのでしょうか。
- ・民宿の夕飯に、鹿鍋ができました。柔らかくておいしかったです。鹿討に、猟師さんがこのへんにも来ているということでした。
- ・メニューには地元の食材をたくさん利用していました。日光マスの刺身・大きなめこの入った味噌汁・里山で採った蕨・イワナの塩焼きなど、どれもおいしくいただきました。なによりも、女将さんの「歓待してあげたい！」という気持ちを感じました。
- ・夜は、満天の星です。天の川・オリオン座・北極星などを観測しました。
- ・里山のソリ遊びは、雪と一体になって楽しむことができました。
- ・2日間の土呂部の生活は、雪は寒く冷たいのですが、森も民宿もあつたか〜い雰囲気に包まれていました。こういう所で仕事や生活ができるといいな〜と思いました。

○メイプルシロップの体験 発表者：高松紀代子・栗田順子

- ・まずは、土呂部からいただいたイタヤカエデの樹液の糖度（甘さ）を測ってみました。ゆうきくんが、糖度計の中にそっと樹液をいれました。メモリは2, 0です。樹液は、ほんのり甘くさらっとしています。
- ・次に、カナダ産のメイプルシロップの糖度を測ってみました。文軒くんが、糖度計の中にそっと樹液をいれました。メモリは66, 4です。シロップは、ねっとりしていて強い甘さでした。シロップを、パンにつけて食べてもらいました。

長い時間をかけて煮詰め、甘さを高めたことがわかります。

そのためには20リットルのポリタンクいっぱいの樹液を煮詰め、やっと250ミリリットルのシロップができるのです。

高松さんが、キャンプで使う20リットルのポリタンクを見せてくれました。それを煮詰めた250ミリリットルのビンもを見せてくれました。

7年前まではイタヤカエデの幹に穴を開けると、樹液がどっと飛び出したのです。

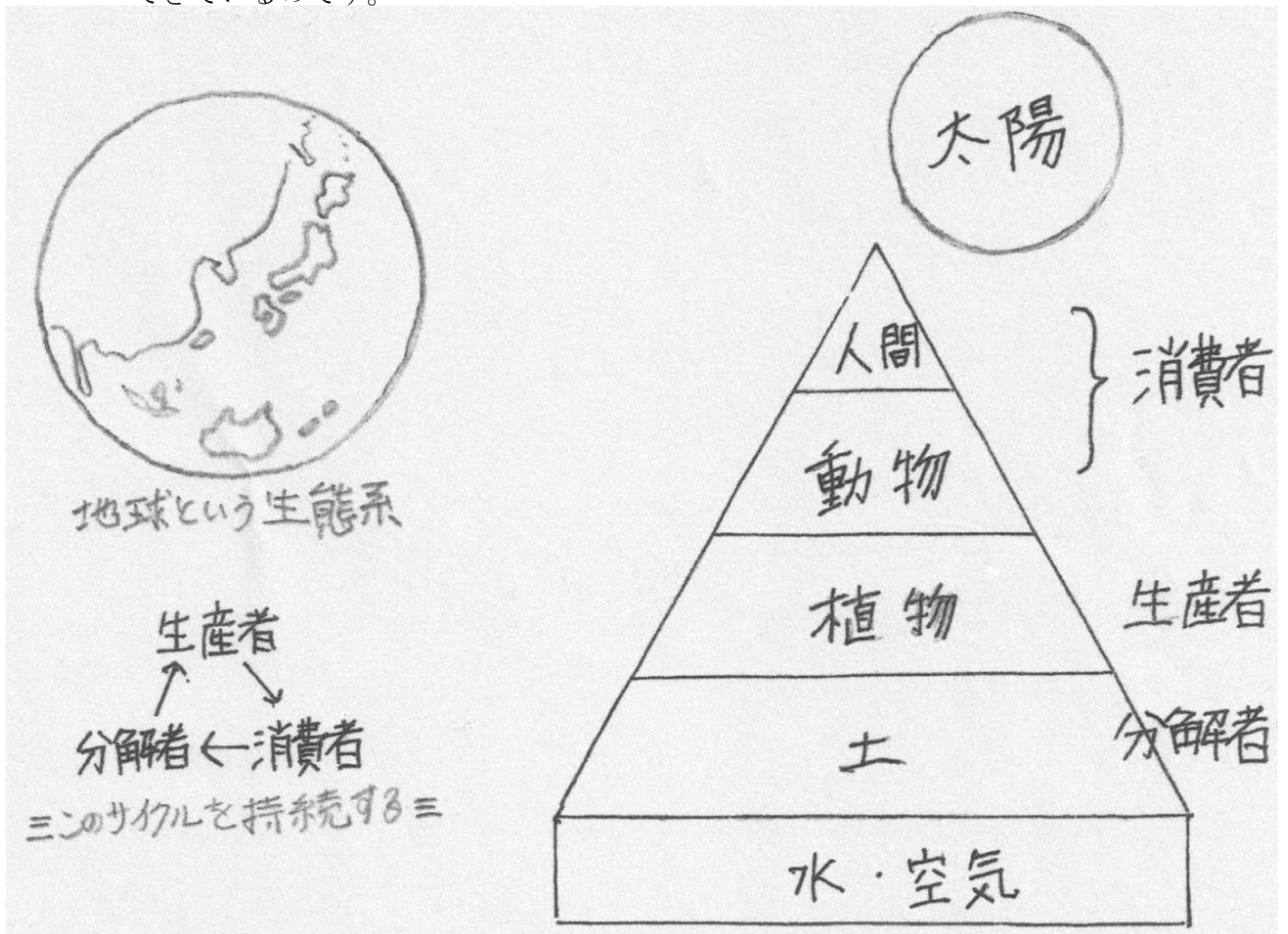
○持続可能な自然とは 発表者：古高利男

私たちはどのような環境の中で生活しているのかを、あらためて考えてみる必要があります。

- ・ 46億年という、気の遠くなるような時間をかけて、今の地球がつくられてきました。
- ・ 地球は、生産者＝植物、消費者＝動物・人間、分解者＝土、という連続性＝サイクルで成り立っています。これを生態系といいます。
- ・ 持続可能な自然とは、このサイクルがこれからも続くということです。

世界の人口は82億人を超えています。

82億人の人々の消費から出る不要なもの＝ゴミを、分解して土に戻せなくなっているのです。



6、ふり返りの感想

○水とくうきが

ピラミッドで同じ段にあったのが  
びっくりした。

柏崎小3年

○メイプルシロップが

あまかったです！

幼稚園年中

○ちきゅうにかんして  
よくした。  
土とかしょくぶつとか  
よくした。  
ちきゅうにかんして よくした

栗島小2年

○持続可能な自然について、子どもたちも楽しく学ぶことができました。  
ありがとうございました。  
メイプルの 自然のめぐみ 大切に

母

○去年行ったときは、メイプルウオーターが全くとれなかったの、うらやましかったです。  
かんきょうを守ること、改めて大切だと思いました。  
メイプルは 地球のめぐみ 人の知恵

父

○のらえもんの環境保護への一番感じられるのが、メイプルシロップだと思った。  
耳で聴くだけでなく、実際に体験し、味わい、体感することにより、関心が深まる  
と思います。

○皆さんの話を聞いて、土呂部の現状がよくわかりました。  
人間と自然を持続発展の関係を、古高さんが紹介してくれました。

○メイプルパン、おいしかった。

谷在家保育園年少 やまもと れんと

○実体験で経験してから、座学で色々なことを考える良いキッカケになりますね。  
その場だけでなく、どうして？なぜ？を話したり考えたりして、良かったです。

母

○持続可能な自然を守るために、日々の生活の中、自分ができることやゴミの出し方  
など、心がけていきたいと思いました。  
テレビで、家庭用の生ごみ処理の機械が紹介されていて、生ごみを出さないとゴミ  
が減ると話されていました。  
いろいろと考え、生活したいと思いました。

○里山。  
自然を大切に。  
初心に戻って、考えさせていただきました。  
シロップに 思う里山の カエデ甘い

○梅は散りサンシュユ咲く公園で胸いっぱい空気すいこむ

古高 利男